

地域福祉国際シンポジウム
2009年1月31日

学際的地域福祉に向けて

ヨシー・コラジム = コロシー, DSW

- International Board Member: IACD & ACOSA
- Chair, The Interdisciplinary Forum for Community Development
- Head, Policy-Planning Department, The Ministry of Social Affairs
- Lecturer, Graduate Program for Family Studies,
The College of Management, ISRAEL

翻訳者: 中路綾夏 (同志社大学)

イスラエル

人口：7,000,000人

80% ユダヤ系

20%
アラブ系

20%
移民

退役軍人(1990年以前)

95%
イスラム教徒

社会政策:

イデオロギーの衰えつつある福祉国家から
社会的・民主的社会へ向かっていく?

貧困率: 24% (150万人以上)

(2000年から45%増加)



802983AI (R02107) 6-03

801azim@netvision.net.il

講義の構成

イスラエルのコミュニティワーク：過去と現在

地域福祉において学際性は進んでいくか？

教育・実践との関連性

ディスカッション

イスラエルのコミュニティワーク: 現状

“ソーシャルワーク法”
1996年

1998年以降ソーシャルワークの中で
専門化された分野



23000人に対して1人のコミュニティワーカー
= コミュニティワーカーの総数: 300人



= 13000人のコミュニティワーカーが公的機
関で雇用されている...

イスラエルのコミュニティワーク: 歴史の概観

1920-1948

専門化以前のユダヤ系コミュニティ構築

1948-1967

コミュニティワークサービスが
福祉省によって創設される (1953年)

1968-1977

“ブラックパンサーズ”抗議運動

1978-1989

イスラエル型 レーガノミクスと
初の非政府地域組織

1990-2000

非政府系の“マクロ実践”と
アドボカシーモデルの台頭

2000-2008

地域福祉において
学際性が進んでいく?

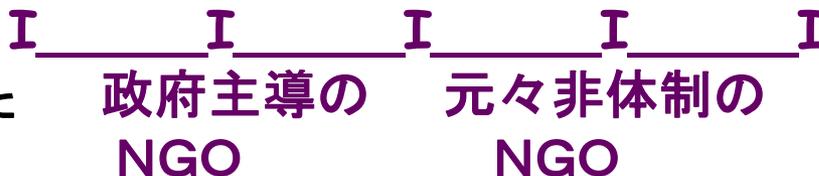
政府系ー非政府系コミュニティワークの連続体

混合経済

公的機関,寄付で維持されている機関、
非営利(NGO) & 民間(営利)機関

“体制”

政府主導& 公的機関
からの援助を基盤とした
コミュニティワーク



“非・体制”

非・政府主導&草の根活動
と社会運動による資金を基
盤としたコミュニティワーク

将来的な方向性

混合経済

体制

I

I

I

非一体制



リスクの高い
コミュニティでの
法で規定された
コミュニティワーク



学際的
アプローチの増加



アドボカシーと
人権機関を通じた
コミュニティ
ワークの増加



地域福祉における
学際連携フォーラム(1999年)

Interdisciplinary Forum
for Community Development



הפורום הבינתחומי
לפיתוח קהילתי

地域福祉において学際性は進むか？

なぜフォーラムは設立されたか？



インターベンションの実効性向上を目的として:

専門職の孤立化と“二重忠誠”のジレンマを緩和する

政策決定者に影響を与える“集団”を構築する

人権擁護を法令化し、戦略を議員（議会）に働きかける

サービスを十分に享受できていない住民層に支援を届ける

フォーラムに参加している人たち

コミュニティ
ソーシャルワーカー

公式 & 非公式の
コミュニティの
教育者

公衆衛生分野の
医師 &
看護師

都市及び
地域計画の
専門家

コミュニティの
弁護士 &
人権関連の専門家

地元 & 地方の
経済開発業者

コミュニティの
警察官

第一段階の目標

- **学際的知識基盤の形成**
- **人材の開発**
- **学際的コミュニティ・プロジェクトの推進**

学際的な知識基盤(a)

一般理論

Julie Klein (1990; 1996) & Moti Nissani (1997)

(Wayne State University)

“学際性 (*interdisciplinarity*) とは2つかそれ以上の専門分野における特有の構成要素を組み合わせることである。”

“学際性 (*interdisciplinarity*) は理論的概念ではなく、実践的なものである。それは科学そのものから生れるのではなく、社会における未解決の課題によって生じるものである。”

異分野連携コミュニティ開発の理論

協働、連合形成、“マクロ”の介入について記された文献のほとんどは学際性 (interdisciplinarity) より組織間関係の側面に焦点をあてている。

KorazimとKlausner (1989)はコミュニティソーシャルワークと地域経済開発の統合を推奨している。

Mizrahi とRosenthal (1998; 2000)はコミュニティ・オーガナイザーの“プログラム領域”を36に分類し、40の社会変革連合体における組織間の緊張関係を示した。

Powellら(1999)は子どものためのコミュニティサービスを、その家族と協力しながら調整・供給するための学際的協働について報告している。

Jonesら(2002)は児童福祉、精神保健、DV、薬物乱用に携わるワーカーに対する学際的トレーニングにおける協働について報告している。

主要な成果- イスラエル

1. 4度の年次大会を開催
(500人以上の参加者、約60%はソーシャルワーカー以外)
2. 「学際的事例検討」とその概念の検討に関する学習会の開催、
およびそれらの文書化
3. 基本的概念や、基本原則、伝達モデルおよび行動モデルの開発
4. 全国規模・国際規模の学会における学際的取り組みへの訴えかけ
5. 学際的地域福祉の理論と実践に関する書籍の執筆



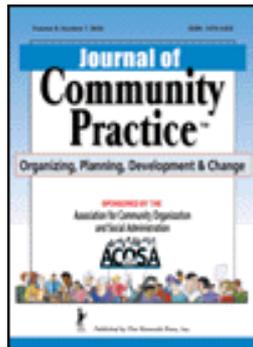
korazim@netvision.net.il



主な成果: アメリカ合衆国



1. ACOSA (学会)が、国際的な発展への取り組みと、ソーシャルワークを基盤とした学際実践への取り組みを進める



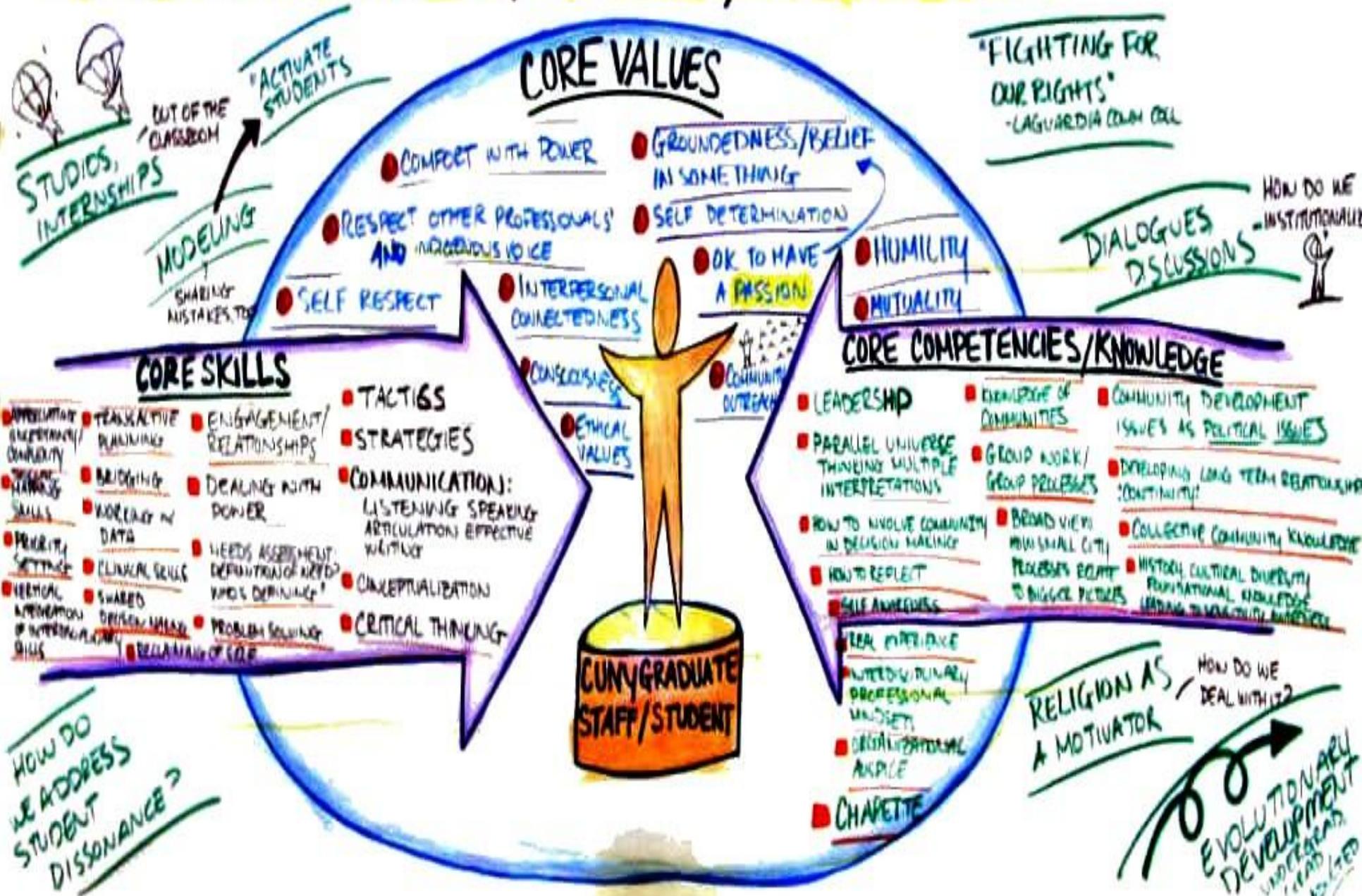
2. 学会誌 (Journal of Community Practice) において、世界中の学際的地域福祉の特集を組み、それを本としても出版



3. ニューヨーク市立大学において、同様の学際間教育者フォーラムが創設

TEACHING INTERDISCIPLINARY COMMUNITY COLLABORATION

10-22-04



学際性:基本概念・課題・モデル

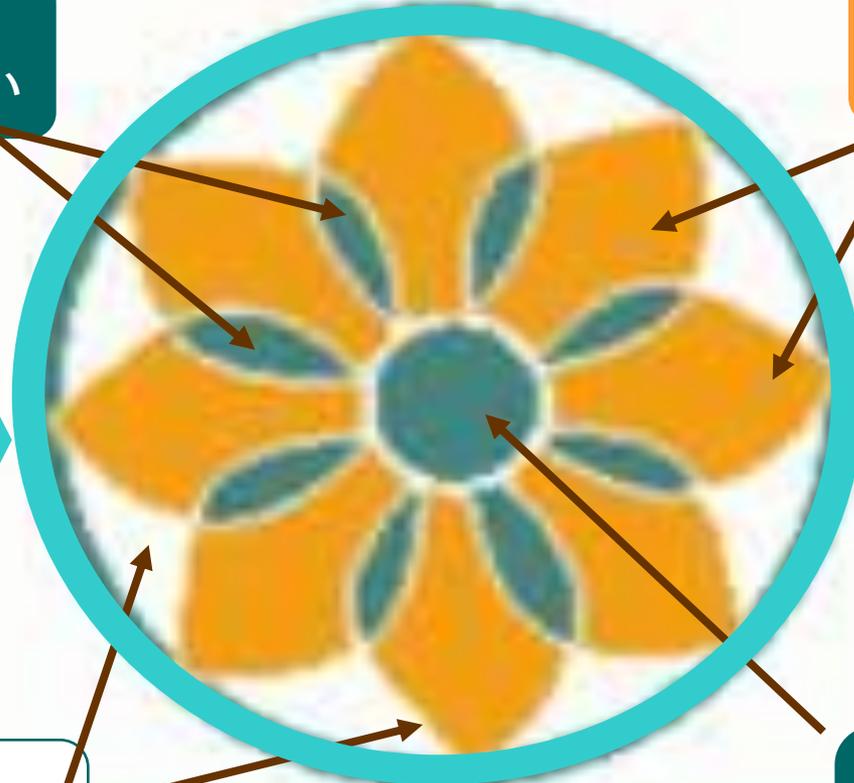
あいまいな境界線:
専門分野の重なり合い

各分野の
高度な専門知識

拡大された境界線

専門分野の
割れ目・すきま

核となる知識,技術,
価値と能力
そして/または
つなぎ目となる専門分野



学際的地域福祉 仮の定義

未解決のまま応用的な対策が必要とされている、複雑な、コミュニティの問題に対して、多様な知識基盤を結集し、対処すること。

そうした対処は、コミュニティの代表者ならびに複数の専門分野の代表者を含む、チームの長期間にわたる協働からなる。そうした協働は、単一の専門分野における方法論や、短期間の多分野連携を超える、共同作用的インターベンション（synergetic interventions）という新しい方法論を導き出す。

そうした方法論の特徴は、住民自身が、個人もしくはグループによる参画を通して、より良いコミュニティを構築しようとする、コミュニティ・アクションとチーム学習のプロセスを統合することである。

専門分野間の関連性: 哲学的概念

調和的:

各専門分野を融合させ1つの“グランドセオリー”へ導く。

弁証法的:

違いを重視し、新たな統合を創造する。

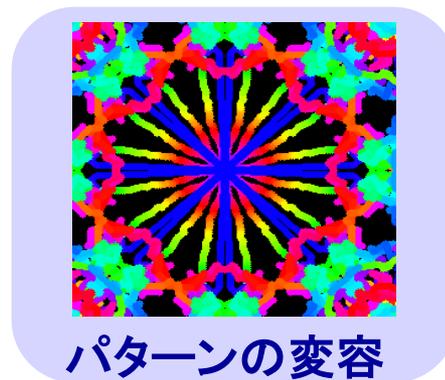
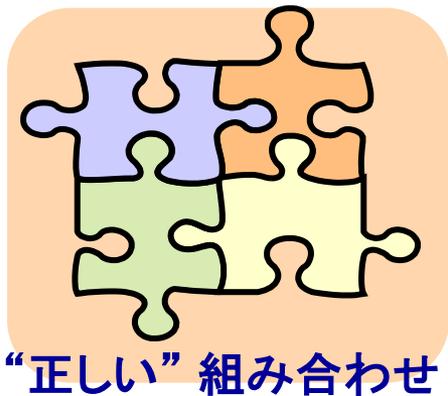
動的:

それぞれの問題はそれ自身の統合的な解決策を保持している。

多元論的:

それぞれの問題は多数の統合的な解決策を有しているかもしれない。

専門分野間の関連性： 哲学的概念からメタファー（象徴）へ





これまでの10年



健康省



宗教的指導者
(イマーム)



母子支援センター

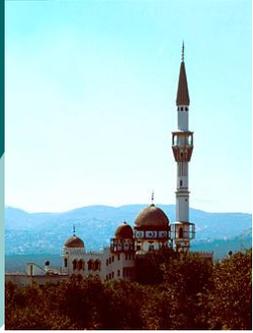


学校

これからの10年



高度な専門知識の維持



母子支援センター



イマーム



コミュニティ
ワーカー



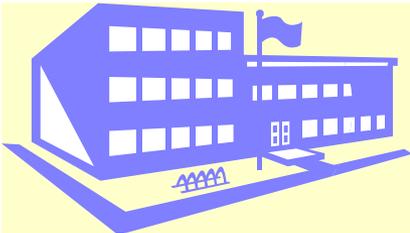
健康省



学校



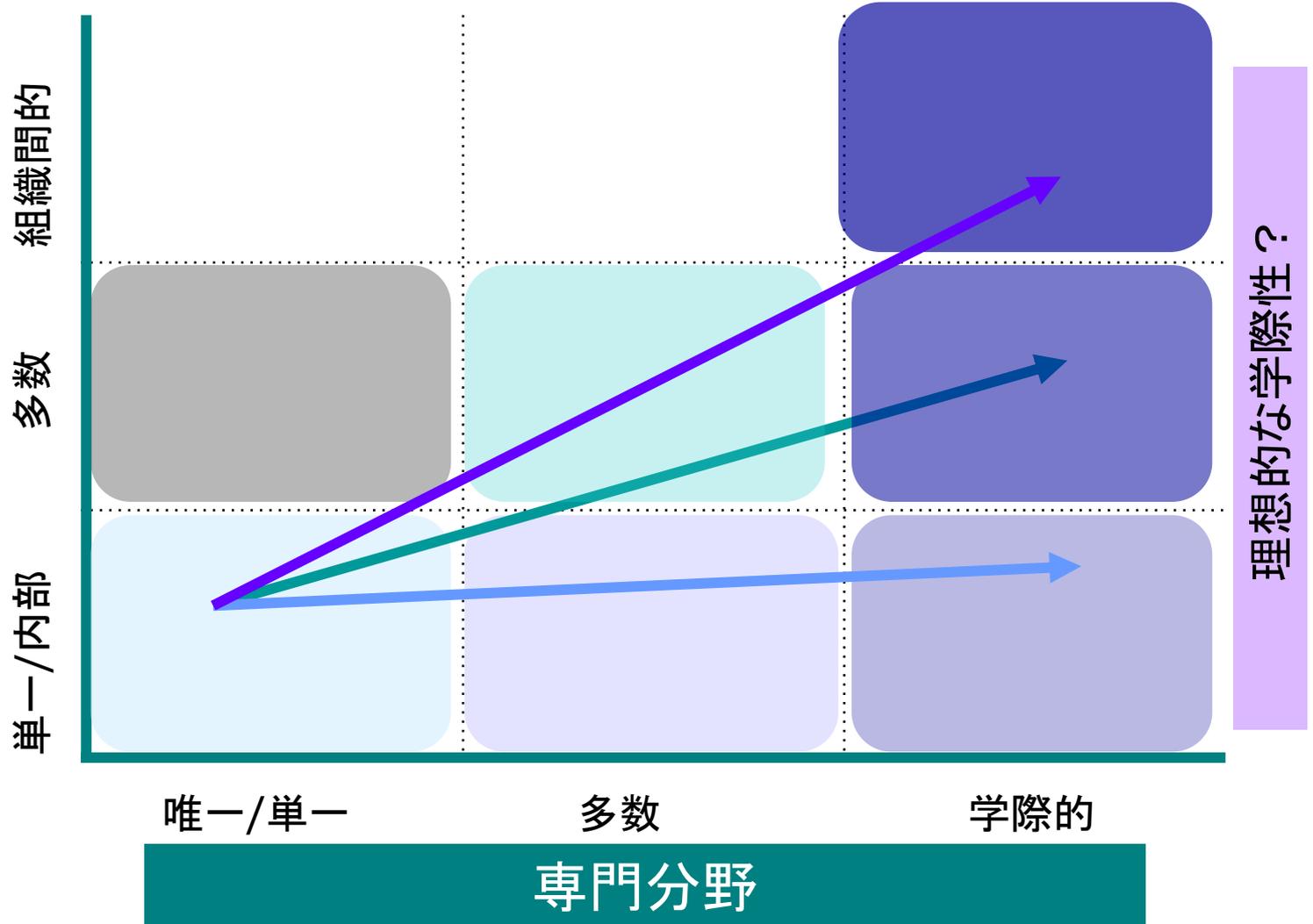
コミュニティの
代表者



地域の学際連携委員会

組織間関係性と学際的關係性の類型

機関



教育と実践における課題と関連性

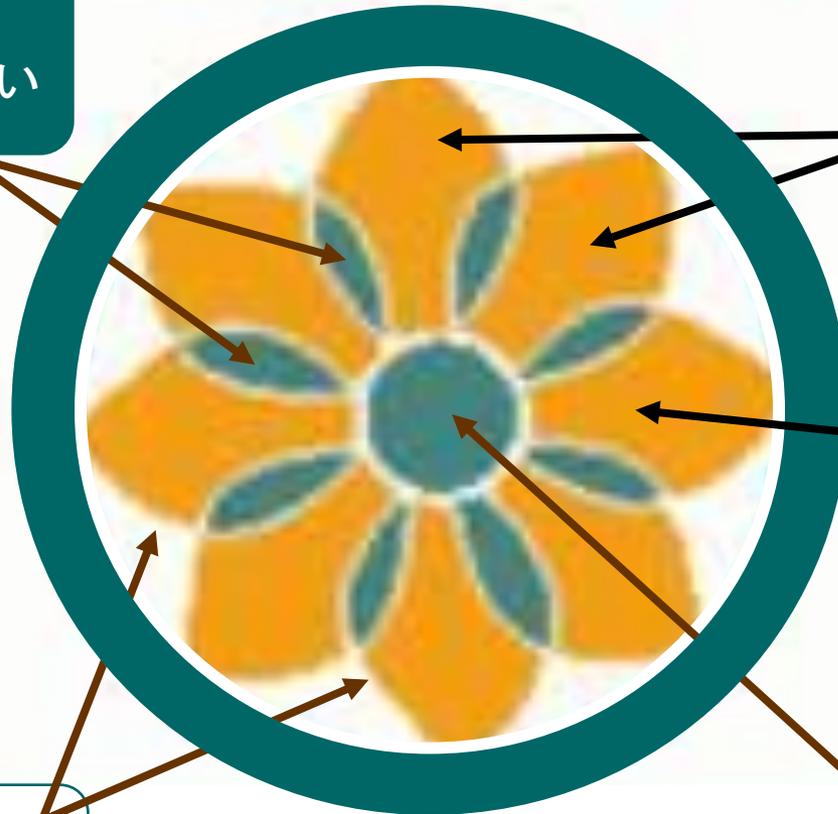
あいまいな境界線;
専門分野の重なり合い

各分野の
高度な専門知識

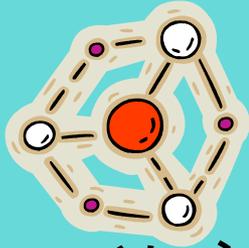
コミュニティの
代表者たち

専門分野の
割れ目/すきま

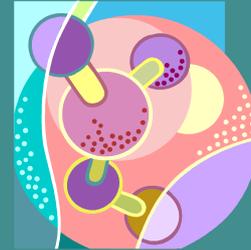
コミュニティ
ソーシャルワーク



将来的なモデル



ソーシャルワーク
(または他分野)
を基盤とした学際的
アプローチ



新たな学際的
地域福祉の
専門家の創造

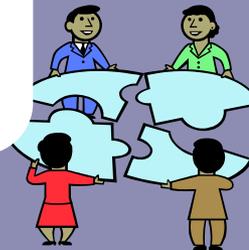
オルタナティブ?

補足的?

プライオリティ?



他の専門職に対する
出先機関の創設



多様な地域福祉専門職に
対応する教育チームワーク

ディスクッション